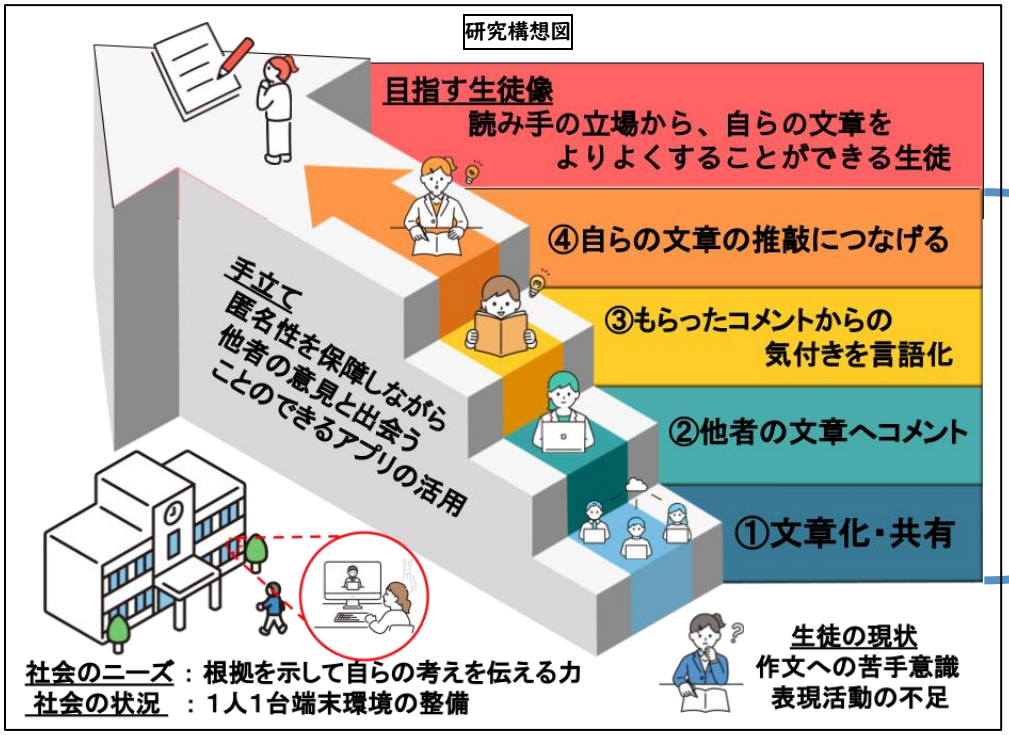
# 高校国語において、読み手の立場から
# 自らの文章をよりよくすることができる生徒の育成

## ――匿名性を保障しながら他者の意見と出会うことのできるアプリの活用を通して――

特別研修員　国語　瀧本　大仁（高等学校教諭）

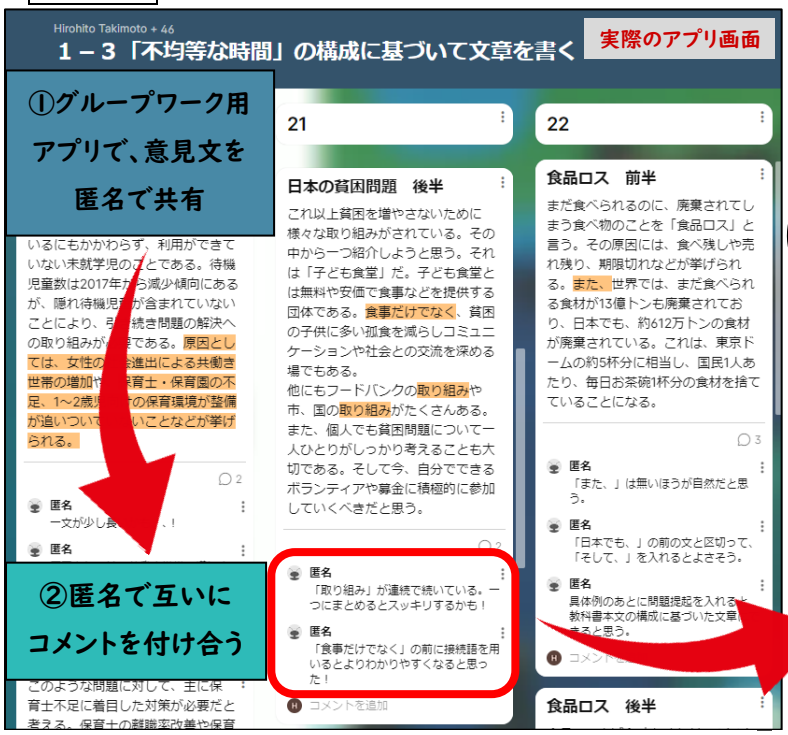
研究構想図




アプリケーションを用いた
①～④の活動を通じ、
「読み手の立場から
文章を見直す力」を育成

匿名だから
意見も言い
やすい！

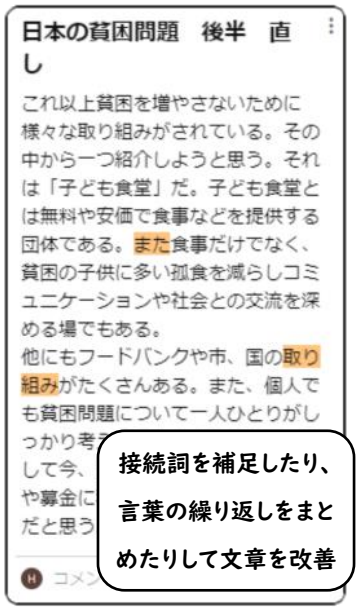
授業での流れ




対比は意識できた！
接続詞が足りなかった！
繰り返しがあった！

③コメントからの
気付きをワーク
シートで言語化

④自らの文章の
推敲につなげる




接続詞を補足したり、
言葉の繰り返しをまと
めたりして文章を改善

### 成果

- ○ 匿名であることで学力や人間関係に影響されることなく気付きを率直にコメントにしようとする姿勢が見られた。
- ○ リアルタイムでのコメント活動は、自分の文章をよりよく書き直すことへの必要感を高めることにつながった。
- ○ 多様なコメントにより、文章に応じた気付きがもたらされ、個々の技術に応じた個別最適な学びがもたらされた。

### 課題

- ○ 交わされたコメントの多くが、文章構成や情報の重要性などの文章全体に関わる指摘でなく、言葉遣いや文の長さなど、一文単位での指摘に留まった。
- ○ 自分の文章に寄せられたコメントの妥当性についての検討が不足してしまったため、熟慮することなくコメントどおりに自分の文章を直す生徒が見られた。